

6年生 社会科研究授業

6月8日（木）6校時、6年1組で、社会科の研究授業を行いました。

弥生時代に、農耕に使われていた道具や米作りが始まったことでもたらした人々の暮らしの変化に着目して情報を集め、それを友達に伝えることを学びました。本校の特色である、『ICTを活用した新たな授業を開発』、『個々に応じた学びの最適化』を実践した授業でした。

◎授業の様子

☆めあての設定



めあてをクロームブックに打ち込んでいます。

授業はガイド役（児童）が進めます。学習のめあて『縄文時代の人々と弥生時代の人々の生活やむらの様子の違いは何だろうか。』という学級全体のめあてについて、個人のめあても設定（本時でがんばること）しました。

今回は、ノートを使わず、クロームブックのアプリ（Google ジャムボード）をノートの代わりにしています。

☆米作りが広がったところの人々の暮らしの様子や社会の変化について調べ（個人、グループ活動）



次に、教科書→関連動画・資料集の順で情報を収集しました。児童は、建物や土器・道具・むらの様子などについて調べ活動を行いました。

集めた情報は、ジャムボードかノートにまとめていきます。（どちらを使うかは児童が選択する。）また、情報の収集、整理・分析は、個人で行ったり、複数で行ったりしました。複数の場合は、ジャムボードを共同編集にして行いました。

XチャートやYチャートなどの学習ツールを使って情報を整理しました。画像を貼り付けたり、動画を静止画として、挿入したりする児童も見られ、ICT機器を存分に活用していました。

☆授業のまとめ



まとめは個人で行い、自分の言葉でまとめました。今回の調べ学習の画面はスクリーンキャプチャを使って、画像にし、Google スライドに貼りました。（こうすることで、電子ノートになり、いつでも学習の足跡を確認できるようにしました。）

☆授業のふりかえり



縄文時代の人々の生活と比べて弥生時代の人々の生活は、米作りをすることで大きく変わり、指導者中心として、村としてまとまりながら米作りをしていった。

児童が書いた
まとめ、振り返りの例

【ふり返り】()
縄文時代と弥生時代はお米づくりが大きな代わりの発展だということがわかりました。お米の発展が大きくなるに連れて、便利なお米づくりもできるようになってきたと思いました。また、動物などの対策を考えた高床倉庫も作り、今の現代の私達があるんだと思いました。

Google スライドに本時の振り返りを書き、自分の思いを発表しました。

